

鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業又は中山間地域等鳥獣被害防止施設整備事業の評価報告(令和2年度報告)

事業実施主体名 井原市有害鳥獣被害防止対策協議会

1 被害防止計画の作成数、特徴等

イノシシやニホンザル、加えてアナグマやタヌキ等の中小獣類の増加による被害が増加傾向である。このことについて、市独自の助成や国庫事業を活用し、防護柵の設置を推進すること及び有害鳥獣駆除班による追い払いや捕獲など総合的に対策することとしている。  
対象鳥獣:イノシシ、ニホンザル、ヌートリア、ニホンジカ、アナグマ、ハクビシン、アライグマ、アオサギ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、カワウ  
計画期間:平成30年度～令和2年度

2 事業効果の発現状況

地域の体制整備、被害防止効果、捕獲状況、人材育成状況、耕作放棄地の解消等様々な角度から記載する。

市単独事業による、侵入防止柵・捕獲檻設置助成や国庫事業を活用した集落柵の設置により、有害鳥獣による被害が軽減され、営農意欲の向上が期待される。今後、左記防護柵による被害軽減や有害捕獲により、被害金額や被害面積の低減につながっていくと考える。  
また、新規狩猟免許及び猟銃取得者に対し、助成を行うことにより、捕獲従事者の育成を図る。

3 被害防止計画の目標達成状況

被害防止計画の目標の達成状況を記載する。

目標は達成されているが、今後も継続して被害防止対策を講じる必要がある。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価
										被害金額(万円)			被害面積(ha)					
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率			
井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	美星地域 井原地域	平成30年度	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備)	7,430m	各地区	H31.3.4	100	農作物の防護	1,123	951	118%	4.1	5.27	78%	防護柵の設置により、被害防止が期待できる	積極的な捕獲活動により、被害金額、被害面積ともに目標を大きく達成できている。 今後も、導入した大型囲い等やGPS発信機等を有効に活用し、防護と捕獲を組み合わせた一体的な対策と狩猟者の確保・育成の取組により、主要作物のぶどう等の被害減少につなげて頂きたい。	積極的な防護柵の整備や捕獲により、被害金額、被害面積共に目標を達成している。 引き続き、イノシシやサル対策、果樹対策に関係者一体となって取り組んでいただきたい。
	美星地域 井原地域		イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(イノシシ捕獲檻)	5基	各地区	H31.3.4	100	有害鳥獣の個体数管理(鳥獣被害防止施設事業設置地区へ貸与)	1,123	951	118%	4.1	5.27	78%	防護柵と併せて設置することにより、捕獲効率を高めることに寄与すると考えられる。		
	井原市内全域		イノシシ(成獣) イノシシ(幼獣) ニホンザル(成獣) ニホンザル(幼獣) ヌートリア タヌキ アナグマ カラス類 ニホンジカ(成獣) ハクビシン アライグマ カワウ サギ類	緊急捕獲活動支援事業(有害捕獲)	752 404 15 9 255 133 182 10 1 2 0 5 52	-	-	-	農作物被害の減少、有害鳥獣の個体数管理	1,123	951	118%	4.1	5.27	78%	猟友会との連携により有害鳥獣の捕獲に努めている。更なる被害軽減のために、効果的な対策を考えていく必要がある。		
			イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備)	7,992m	各地区	R2.2.28	100	農作物の防護	1,123	869	129%	4.1	2.54	161%	防護柵の設置により、被害防止が期待できる		
井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	美星地域	令和元年度	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備)	7基	各地区	R2.3.2	100	有害鳥獣の個体数管理(鳥獣被害防止施設事業設置地区へ貸与)	1,123	869	129%	4.1	2.54	161%	防護柵と併せて設置することにより、捕獲効率を高めることに寄与すると考えられる。	GPS情報と運動したエサの管理などにより、効率的な捕獲を実施できている。	
	美星地域		イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(イノシシ捕獲檻)	2基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R2.3.6	100	有害鳥獣の個体数管理(生息数が増加傾向にあるニホンザルの複数捕獲)	1,123	869	129%	4.1	2.54	161%	地獄檻による効率的な捕獲を目指すため、位置情報を利用する。		
	芳井地域 美星地域		ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル用地獄檻)	1式	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R2.3.16	100	ニホンザルの行動域の把握及び捕獲補助	1,123	869	129%	4.1	2.54	161%	猟友会との連携により有害鳥獣の捕獲に努めている。更なる被害軽減のために、効果的な対策を考えていく必要がある。		
	市内全域		イノシシ(成獣) イノシシ(幼獣) ニホンザル(成獣) ニホンザル(幼獣) ヌートリア タヌキ アナグマ カラス類 ニホンジカ(成獣) ハクビシン アライグマ カワウ サギ類	緊急捕獲活動支援事業(有害捕獲)	818 226 36 13 165 87 180 17 3 0 1 4 38	-	-	-	農作物被害の減少、有害鳥獣の個体数管理	1,123	869	129%	4.1	2.54	161%	GPS情報と運動したエサの管理などにより、効率的な捕獲を実施できている。		
	市内全域		イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備)	8,087m	各地区	R3.2.28	100	農作物の防護	1,123	981	114%	4.1	2.35	174%	防護柵の設置により、被害防止が期待できる		
井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	市内全域	令和2年度	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(イノシシ捕獲檻)	10基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R3.2.28	100	有害鳥獣の個体数管理(鳥獣被害防止施設事業設置地区及び地区猟友会へ貸与)	1,123	981	114%	4.1	2.35	174%	防護柵と併せて設置することにより、捕獲効率を高めることに寄与すると考えられる。	GPS情報と運動したエサの管理などにより、効率的な捕獲を実施できている。	
	市内全域		ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル用地獄檻)	20基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R3.2.25	100	有害鳥獣の個体数管理(GPS調査の結果に応じて小型檻を移動させることにより効率的に捕獲を行う)	1,123	981	114%	4.1	2.35	174%	地獄檻・小型檻による効率的な捕獲を目指すため、位置情報を利用する。		
	市内全域		ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル用地獄檻)	3機	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R3.2.25	100	ニホンザルの行動域の把握及び捕獲補助	1,123	981	114%	4.1	2.35	174%	猟友会との連携により有害鳥獣の捕獲に努めている。更なる被害軽減のために、効果的な対策を考えていく必要がある。		
	市内全域		イノシシ(成獣) イノシシ(幼獣) ニホンザル(成獣) ニホンザル(幼獣) ヌートリア タヌキ アナグマ カラス類 ニホンジカ(成獣) ハクビシン アライグマ カワウ サギ類	緊急捕獲活動支援事業(有害捕獲)	763 297 39 15 232 94 259 6 1 1 13 0 26	-	-	-	農作物被害の減少、有害鳥獣の個体数管理	1,123	981	114%	4.1	2.35	174%			

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

2:都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。

3:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

4:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。

5:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況、都道府県における点検・指導状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。